

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年11月13日

【四半期会計期間】 第110期第2四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 日本特殊塗料株式会社

【英訳名】 Nihon Tokushu Toryo Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 酒井 万喜夫

【本店の所在の場所】 東京都北区王子5丁目16番7号

【電話番号】 03(3913)6131(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務業務本部長 田 谷 純

【最寄りの連絡場所】 東京都北区王子5丁目16番7号

【電話番号】 03(3913)6134

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務業務本部長 田 谷 純

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第109期 第2四半期 連結累計期間	第110期 第2四半期 連結累計期間	第109期
会計期間		自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高	(千円)	19,062,908	20,630,229	39,570,715
経常利益	(千円)	1,642,962	2,372,381	4,036,517
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	1,392,145	1,862,186	3,029,213
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,148,685	1,103,097	5,570,750
純資産額	(千円)	27,052,613	32,408,343	31,385,764
総資産額	(千円)	47,190,334	53,020,339	53,428,396
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	62.96	84.22	137.00
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	54.9	58.2	56.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	400,186	1,239,236	3,126,283
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,420,336	1,783,497	2,651,378
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	763,028	129,488	686,808
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,926,763	3,954,019	4,617,237

回次		第109期 第2四半期 連結会計期間	第110期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	37.55	44.09

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、北海道ニットク株式会社は、平成27年7月15日に清算終了したため、当第2四半期連結会計期間末より連結の範囲から除外しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油安と米国経済の好調を背景とした企業収益の改善や雇用・個人消費の持ち直しなどにより、穏やかな回復基調で推移しました。一方、米国の金利政策の見通しや中国経済成長率の減速、アジア新興国の経済動向など、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、市場・顧客ニーズに適応した製品開発と新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに、生産能力の増強、原価改善、生産性の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内外ともに需要が堅調に推移したことで206億3千万円（前年同期比8.2%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に加えて原価改善等により営業利益は9億8千9百万円（前年同期比51.1%増）、経常利益は円安及び持分法による投資利益の増加で23億7千2百万円（前年同期比44.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億6千2百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

#### 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、企業収益の拡大を背景とした国内民間需要の増加等により、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は民間の塗り替え需要増により前年同期比13.5%増加、防水用塗料についても需要が増加し前年同期比2.6%増加しました。一方、航空機用塗料は後半に入り塗り替え需要が一段落したことで前年同期比1.4%減少しました。また、工事関連売上高の集合住宅大規模改修工事は、工事物件増加により前年同期比32.5%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は78億3千7百万円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益は3億2千9百万円（前年同期比52.5%増）となりました。

#### 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、乗用車生産台数が堅調に推移したことで国内外での受注増加により売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

品種別売上高につきましては、制振材は新規受注増加もあり前年同期比15.5%増加しました。吸・遮音材についても受注増加により10.1%増加しました。一方、防錆塗料は国内での受注台数減により前年同期比6.8%減少しました。原材料輸出等のその他売上は、前年同期比2.3%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は127億8千5百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益は6億5千6百万円（前年同期比51.2%増）となりました。

#### その他

保険代理業の売上高は7百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

（注）各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高消去後の数値を記載しております。

## (2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億8百万円減少し、530億2千万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少6億6千8百万円、受取手形及び売掛金の増加3億7千6百万円、建設仮勘定の増加2億3千4百万円、投資有価証券の減少4億3千1百万円、投資その他の資産のその他の増加3億7千万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億3千万円減少し、206億1千1百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少2億7千1百万円、流動負債のその他の減少7億2千9百万円、繰延税金負債の減少4億4千9百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億2千2百万円増加し、324億8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加16億8千4百万円、その他有価証券評価差額金の減少9億7千7百万円、非支配株主持分の増加1億9千9百万円によるものです。自己資本比率は2.0%増加し58.2%となりました。

## (3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億6千3百万円減少し、39億5千4百万円となりました。

営業活動による資金は、12億3千9百万円の収入（前年同期比8億3千9百万円の増加）となりました。この主な要因は、減価償却費8億3千2百万円、売上債権の増加3億6千3百万円、利息及び配当金の受取額5億1千4百万円によるものです。

投資活動による資金は、17億8千3百万円の支出（前年同期比3億6千3百万円の増加）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出16億5千4百万円によるものです。

財務活動による資金は、1億2千9百万円の支出（前年同期比6億3千3百万円の減少）となりました。この主な要因は、短期借入金の純増額3億9千9百万円、長期借入による収入2億2千1百万円、長期借入金の返済による支出6億4千3百万円によるものです。

## (4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は6億7千8百万円であります。

## (6)従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

## (7)生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい増減はありません。

## (8)主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,611,200	23,611,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 あります。
計	23,611,200	23,611,200		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日		23,611,200		4,753,085		4,258,867

## (6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
AUTONEUM HOLDING AG (常任代理人 東海東京証券株式 会社)	SCHLOSSTALSTRASSE 43 CH-8406 WINTERTHUR SWITZERLAND (東京都中央区新川1-17-21)	22,020	9.32
関西ペイント株式会社	大阪府大阪市中央区今橋2-6-14	18,677	7.91
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社	東京都中央区晴海1-8-11	17,583	7.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	8,788	3.72
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内2-1-1 (東京都中央区晴海1-8-12)	7,560	3.20
株式会社中外	愛知県名古屋市中区千代田5-21-11	7,170	3.03
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1	7,054	2.98
HORIZON GROWTH FUND N.V. (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	ZEELANDIA OFFICE PARK KAYA W.F.G. (JOMB1) MENSING 14,2ND FLOOR, CURACAO (東京都千代田区丸の内2-7-1)	5,951	2.52
ニットク親和会	東京都北区王子5-16-7 日本特殊塗料株式会社内	5,390	2.28
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	4,001	1.69
計		104,196	44.13

- (注) 1 提出会社は、自己株式14,178百株(発行済株式総数に対する所有株式の割合: 6.00%)を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
- 2 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。  
日本トラスティ・サービス信託銀行 17,583百株
- 3 ニットク親和会の所有株式には、相互保有の無議決権株式が133百株含まれています。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,417,800 (相互保有株式) 普通株式 211,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,967,600	219,676	
単元未満株式	普通株式 14,300		
発行済株式総数	23,611,200		
総株主の議決権		219,676	

(注) 単元未満株式数には当社保有の自己株式87株および相互保有株式24株が含まれます。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本特殊塗料株式会社	東京都北区王子5-16-7	1,417,800		1,417,800	6.00
(相互保有株式) 富士産業株式会社	神奈川県平塚市東八幡 5-11-3	163,200		163,200	0.69
(相互保有株式) 梅居産業株式会社	福岡県福岡市博多区榎田 1-7-42	35,000	13,300	48,300	0.20
計		1,616,000	13,300	1,629,300	6.90

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持株数	ニットク親和会	東京都北区王子5-16-7 日本特殊塗料株式会社内

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,733,429	4,064,819
受取手形及び売掛金	12,573,956	12,950,248
商品及び製品	1,330,939	1,326,029
仕掛品	381,801	336,680
原材料及び貯蔵品	1,018,349	951,647
繰延税金資産	355,681	355,779
その他	593,295	530,425
貸倒引当金	6,904	89,922
<b>流動資産合計</b>	<b>20,980,548</b>	<b>20,425,708</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	3,961,523	3,933,475
機械装置及び運搬具（純額）	3,452,108	3,424,697
土地	3,373,793	3,373,793
建設仮勘定	889,020	1,123,159
その他（純額）	1,356,860	1,389,440
<b>有形固定資産合計</b>	<b>13,033,307</b>	<b>13,244,566</b>
<b>無形固定資産</b>		
その他	299,595	300,334
<b>無形固定資産合計</b>	<b>299,595</b>	<b>300,334</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	17,177,599	16,746,321
長期貸付金	269,619	265,430
繰延税金資産	40,072	39,989
その他	1,641,621	2,011,987
貸倒引当金	13,967	13,997
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>19,114,944</b>	<b>19,049,729</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>32,447,847</b>	<b>32,594,631</b>
<b>資産合計</b>	<b>53,428,396</b>	<b>53,020,339</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,121,735	8,850,235
短期借入金	1,876,668	2,186,251
リース債務	46,370	57,643
未払法人税等	256,458	324,058
役員賞与引当金	55,300	-
その他	3,892,712	3,163,176
流動負債合計	15,249,245	14,581,365
固定負債		
長期借入金	1,728,588	1,405,416
リース債務	123,082	177,746
退職給付に係る負債	3,997,966	3,954,920
繰延税金負債	910,512	460,779
その他	33,235	31,768
固定負債合計	6,793,385	6,030,631
負債合計	22,042,631	20,611,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753,085	4,753,085
資本剰余金	4,362,942	4,362,942
利益剰余金	15,292,556	16,977,196
自己株式	496,536	496,654
株主資本合計	23,912,047	25,596,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,874,913	3,896,937
為替換算調整勘定	1,246,390	1,360,401
退職給付に係る調整累計額	11,956	9,155
その他の包括利益累計額合計	6,109,347	5,248,183
非支配株主持分	1,364,370	1,563,589
純資産合計	31,385,764	32,408,343
負債純資産合計	53,428,396	53,020,339

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,062,908	20,630,229
売上原価	15,206,876	16,162,359
売上総利益	3,856,032	4,467,870
販売費及び一般管理費	1 3,201,244	1 3,478,451
営業利益	654,787	989,418
営業外収益		
受取配当金	66,446	78,996
持分法による投資利益	885,057	1,345,431
その他	72,971	59,729
営業外収益合計	1,024,474	1,484,156
営業外費用		
支払利息	31,970	34,270
為替差損	-	52,531
その他	4,329	14,392
営業外費用合計	36,299	101,193
経常利益	1,642,962	2,372,381
特別利益		
固定資産売却益	2,697	15,452
受取保険金	5,667	2,968
特別利益合計	8,365	18,421
特別損失		
固定資産処分損	11,641	18,590
減損損失	-	89,115
貸倒引当金繰入額	-	2 82,929
特別損失合計	11,641	190,636
税金等調整前四半期純利益	1,639,686	2,200,166
法人税等	193,842	260,412
四半期純利益	1,445,844	1,939,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	53,699	77,566
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,392,145	1,862,186

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,445,844	1,939,753
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	110,894	967,522
為替換算調整勘定	142,452	51,645
退職給付に係る調整額	4,991	3,047
持分法適用会社に対する持分相当額	270,593	76,173
その他の包括利益合計	297,159	836,655
四半期包括利益	1,148,685	1,103,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162,669	1,001,023
非支配株主に係る四半期包括利益	13,983	102,074

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,639,686	2,200,166
減価償却費	783,024	832,367
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	28,896	39,997
受取利息及び受取配当金	73,552	98,406
支払利息	31,970	34,270
持分法による投資損益(は益)	885,057	1,345,431
固定資産売却損益(は益)	2,255	15,347
固定資産処分損益(は益)	11,199	18,511
減損損失	-	89,115
受取保険金	5,667	2,968
売上債権の増減額(は増加)	322,963	363,168
たな卸資産の増減額(は増加)	126,026	121,492
仕入債務の増減額(は減少)	1,215,999	275,841
その他	64,691	211,582
小計	638,750	943,179
利息及び配当金の受取額	372,131	514,774
利息の支払額	36,180	30,701
保険金の受取額	5,703	2,968
法人税等の支払額	580,448	190,984
法人税等の還付額	230	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	400,186	1,239,236
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	79,196	19,197
定期預金の払戻による収入	24,588	24,589
有形固定資産の取得による支出	975,170	1,654,933
有形固定資産の売却による収入	3,350	17,163
投資有価証券の取得による支出	45,418	6,444
関係会社株式の取得による支出	262,783	-
貸付けによる支出	102,500	146,400
貸付金の回収による収入	51,760	25,865
その他	34,966	24,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,420,336	1,783,497
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	56,147	399,716
長期借入れによる収入	73,844	221,896
長期借入金の返済による支出	673,894	643,407
自己株式の取得による支出	98	81
配当金の支払額	176,287	181,576
非支配株主への配当金の支払額	14,065	17,951
非支配株主からの払込みによる収入	130,578	115,096
非支配株主への払戻による支出	23,800	-
その他	23,157	23,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	763,028	129,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	10,531
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,783,280	663,217
現金及び現金同等物の期首残高	4,710,043	4,617,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,926,763	3,954,019

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結子会社であった北海道ニットク株式会社は平成27年7月15日に清算結了したため、当第2四半期連結会計期間末より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次の会社等の金融機関からの借入やリース債務に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
SRN Sound Proof Co.,Ltd.	66,600千円	59,220千円
Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd.	201,284 "	97,467 "
PT.Tuffindo Nittoku Autoneum	1,446,554 "	1,400,535 "
(株)エヌ・シー・エス	57,518 "	52,876 "
計	1,771,957 "	1,610,099 "

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
給与手当	855,746千円	902,423千円
退職給付費用	103,935 "	47,843 "
役員賞与引当金繰入額	15,652 "	1,272 "

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

2 貸倒引当金繰入額

当社の元社員の不正取得に係る回収不能見込み額であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金	3,137,555千円	4,064,819千円
預入期間が3か月を超える定期預金	210,792 "	110,800 "
現金及び現金同等物	2,926,763 "	3,954,019 "

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月24日 定時株主総会	普通株式	177,549	8	平成26年3月31日	平成26年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月5日 取締役会	普通株式	88,774	4	平成26年9月30日	平成26年11月28日	利益剰余金

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月24日 定時株主総会	普通株式	177,547	8	平成27年3月31日	平成27年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月11日 取締役会	普通株式	133,159	6	平成27年9月30日	平成27年11月27日	利益剰余金

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,033,503	12,021,211	19,054,715	8,193	19,062,908		19,062,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,800		1,800		1,800	1,800	
計	7,035,303	12,021,211	19,056,515	8,193	19,064,708	1,800	19,062,908
セグメント利益	216,242	434,190	650,432	4,355	654,787		654,787

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,837,367	12,785,741	20,623,108	7,120	20,630,229		20,630,229
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,800		1,800		1,800	1,800	
計	7,839,167	12,785,741	20,624,908	7,120	20,632,029	1,800	20,630,229
セグメント利益	329,689	656,655	986,344	3,074	989,418		989,418

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

塗料関連事業及び自動車製品関連事業セグメントにおいて、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていない資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては塗料関連事業で44,557千円、自動車製品関連事業で44,557千円であります。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	62円96銭	84円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	1,392,145	1,862,186
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	1,392,145	1,862,186
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,111	22,110

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第110期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の中間配当については、平成27年11月11日開催の取締役会において、平成27年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	133,159,878円
1株当たりの金額	6円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成27年11月27日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月13日

日本特殊塗料株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	麻 生 和 孝	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中 野 強	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本特殊塗料株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本特殊塗料株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。